



農福連携について

「農福連携のススメ」では、農福連携の取り組みを知ってもらい、地域の皆さんとともに農福連携の輪を広げていくために、長野市や長野市農業公社が取り組む農福連携事業活動などを紹介します。

農福連携コーディネーターがレポート

第1回農作業体験会

5月17日（水）に令和5年度第1回農作業体験会が開催され、5事業所から16名の利用者と6名の職員の合計22名が参加しました。

今回は耕運機の安全講習会です。はじめに先生の説明やデモンストレーションを見学し、いよいよ実践です。



▲耕運機の安全講習会の様子

参加者全員が1往復ずつ体験しましたが、全員が終わった後、何回も挑戦する方も。「これで施設でも使用できる。」と真剣なまなざしで話してくれました。

第2回農作業体験会



▲サツマイモの植付作業の様子

6月13日（火）に10事業所から45名の利用者と12名の職員の方に参加いただき、第2回農作業体験会が開催されました。

今回は令和2年度の農作業体験会開始以来、初めてサツマイモの植付作業に取り組むことになり、大勢の方が参加しました。マルチに30センチの間隔で棒を深く刺し、その穴にサツマイモの苗を植えて土をかぶせます。事業所ごと各うねで作業、棒でマルチに穴をあける人、苗を入れる人、土をかぶせる人、

と工夫して分業していました。作業後、参加者にお話しを聞くとき、「これからサツマイモを食べるときに今日の事を思い出す。」、「自分たちが植え付けたサツマイモが大きいたくさん育って出荷されると思うとうれしくなります。」と笑顔で話してくれました。

体験会では、3つの畑に苗を植付、その苗の数5千本！

園主さんからも本当に助かったと感謝のお言葉を頂きました。

問

長野市農業公社

Tel: 227-1650

農福連携コーディネーター

研修会レポート PART ①

2月15日（水）から2泊3日で長野県農政部主催の「農福連携」視察研修会に参加しました。初めての先進地視察で京都から大阪、そして島根へと行ってきました。今回はリポート①回目ということで京都編です。

京都ではノウフク・アワード2021グランプリを受賞した「さんさん山城」を視察しました。

聴覚に障害のある利用者が多く、手話で楽しそうに併設のコミュニティカフェで作業する姿が印象的でした。また、後継者がいない宇治茶園の管理や30種類以上の伝統野菜の栽培など、大学生やボランティアがたくさん参加し、地域住民のよりどころ・憩いの場になっていました。



▲えびいもハンバーグ定食
伝統野菜を使ったランチは評判

問い合わせ先

長野市役所

農業政策課

Tel: 224-5098

障害福祉課

Tel: 224-5030